

## 財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団

[法人の概要]

平成21年7月1日現在

代表者名	理事長 細谷 茂治(非常勤)	県所管部課	商工労働部労働政策課	
所在地	水戸市笠原町978番6	電話番号	029-301-3635	
ホームページURL	<a href="http://www.yamizo.com">http://www.yamizo.com</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:info@yamizo.com">info@yamizo.com</a>	
資本金(基本財産)	4,000	千円	設立年月日	昭和49年12月6日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	2,000	50.0%
	2	(社)茨城県労働者福祉協議会	1,000	25.0%
	3	茨城県市長会	500	12.5%
	4	茨城県町村会	500	12.5%
	5			
その他				
設立目的	勤労者及び公的年金加入者並びに公的年金受給権者の余暇活用と福祉の増進のため必要な事業を行うことを目的とする。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	内 容	
事業1	「余暇活用センターやみぞ」運営事業	206,863	207,999	220,839	福利厚生施設を持たない中小企業の勤労者等に低廉な価格により宿泊サービス等を提供する。
	全体事業に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	
事業2					
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
事業3					
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
その他事業	事業1~3以外	0	0	0	
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
全体事業		206,863	207,999	220,839	指定管理者
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

&lt; 財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団 から県民のみなさまへ &gt;

余暇活用センター「やみぞ」では、奥久慈シャモやこんにやくなど地元産の素材を活かした料理や大浴場において季節で変わるりんご風呂、檜アロマ風呂、しょうぶ風呂などのご提供とともに、グランドゴルフなどの団体による平日利用や日帰り温泉入浴もご用意させていただきました。まごころ込めたおもてなしで従業員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

平成22年2月 理事長 細谷 茂治

[経営状況] 財団法人茨城県勤労者余暇活用事業(単位:千円)

区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	増減数	増減理由
収支・正味財産の状況	事業活動収入	225,876	218,989	227,899	8,910	
	基本財産運用収入	2	10	18	8	
	事業収入	210,918	205,718	210,662	4,944	宿泊者数の増
	受託・補助金等収入	14,891	13,213	17,188	3,975	町補助金の増
	その他の収入	65	48	31	17	
	事業活動支出	206,863	207,999	220,839	12,840	
	事業費	206,731	207,771	220,671	12,900	燃料費, 原材料費の増
	管理費	132	228	168	60	
	うち役員人件費	0	0	0	0	
	うち職員人件費	74,415	72,831	74,217	1,386	
	事業活動収支差額	19,013	10,990	7,060	3,930	
	投資活動・財務活動収入	27,000	22,000	18,000	4,000	県貸付金の減
	投資活動・財務活動支出	27,000	22,000	18,000	4,000	
	投資活動・財務活動に伴う収支差額	0	0	0	0	
	当期収支差額	19,013	10,990	7,060	3,930	
	一般正味財産増加額(正味財産増加額)	225,876	218,989	227,899	8,910	
	経常収益	225,876	218,989	227,899	8,910	
	経常外収益	0	0	0	0	
	一般正味財産減少額(正味財産減少額)	206,863	207,999	220,839	12,840	
	経常費用	206,863	207,999	220,839	12,840	
経常外費用	0	0	0	0		
一般正味財産増減額(正味財産増減額)	19,013	10,990	7,060	3,930		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	23,401	12,411	5,351	7,060		
貸借対照表	資産合計	29,751	22,142	41,063	18,921	
	流動資産	24,380	17,008	36,199	19,191	未収金の増
	固定資産	5,371	5,134	4,864	270	
	負債合計	53,152	34,553	46,414	11,861	
	流動負債	46,764	28,165	40,026	11,861	未払金の増
	うち短期借入金	27,000	22,000	18,000	4,000	
	固定負債	6,388	6,388	6,388	0	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	23,401	12,411	5,351	7,060		
基本財産充当額	4,000	4,000	4,000	0		
県財政関与状況	補助金	14,891	13,213	14,188	975	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	34,000	27,000	22,000	5,000	県貸付金の減
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合計	48,891	40,213	36,188	4,025	
	財政的関与の割合(%)	6.59%	6.03%	6.23%	0.2	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成18年度	平成19年度	平成20年度	増減P	備考
収益事業比率	収益事業費 / 当期総支出	88.5%	90.4%	92.5%	2.0	
管理費比率	管理費 / 当期支出合計	0.1%	0.1%	0.1%	0.0	
人件費比率	人件費 / 事業活動支出	36.0%	35.0%	33.6%	1.4	
自己収入比率	自己収入 / 事業活動収入	93.4%	94.0%	93.8%	0.2	
流動比率	流動資産 / 流動負債	52.1%	60.4%	90.4%	30.1	
借入金比率	借入金残高 / 負債・正味財産合計	90.8%	99.4%	43.8%	55.5	

[組織]

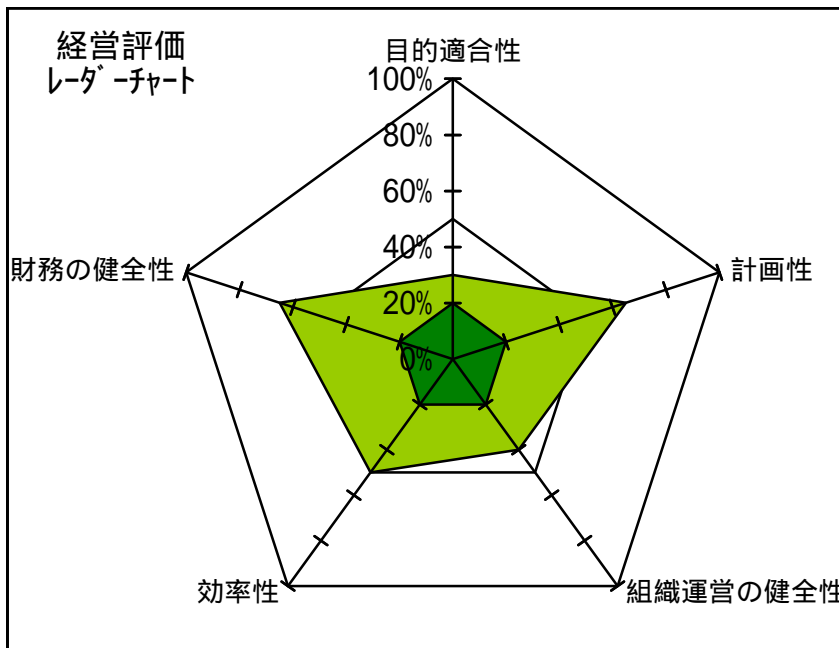
7月1日現在の人数		平成19年		平成20年		平成21年		増減数	増減理由
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB		
役員	常勤理事・監事	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤理事・監事	10	2	10	2	10	2	0	
	計	10	2	10	2	10	2	0	
職員	管理職	2	0	2	0	2	0	1	0
	一般職	8	0	8	0	8	0	0	0
	嘱託・臨時職員等	23	0	22	0	22	0	0	0
	計	33	0	32	0	32	0	1	0
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代	~	合計	平均年齢	プロパー職員平均勤続年数
		0	3	1	6		10	48.4 歳	20.1 年

[ 評点集計 ]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	11	6	20	30.0%
計画性	8	13	20	65.0%
組織運営健全性	9	8	20	40.0%
効率性	11	10	20	50.0%
財務健全性	10	13	20	65.0%
合計	49	50	100	50.0%

警戒指標

流動比率  
債務超過



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[ 法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等） ]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
福利厚生施設を持たない中小企業の勤労者等に低廉な価格でサービスを提供しておりその役割は大きい。	平成19年度に策定した中期経営基本計画に基づき事業を推進し、職員間においても経営改善に向けた意識の疎通を密にするなど計画的に事業を推進した。	全職員に定期的に経営状況を知らせるとともに、関係者との会議を定期的開催し、役職員が一丸となって運営に努めるなど適正に運営している。	平成16年度に大幅な組織の合理化を図り、概ね効率的に運営している。	累積欠損金が平成20年度末で9,351千円となっており、その解消が課題となっているが、平成16年度から5年連続で黒字決算を計上し、改善してきている。
今後の事業展開の方向	<p>当事業団が運営する余暇活用センターやみぞは、平成22年3月末までに大子町へ移管することとした。</p> <p>また、事業団についても、平成23年3月末を目途に解散することとしている。今後は、主務官庁の指導の下、円滑な施設の移管及び事業団の解散手続きを進めていきます。</p> <p>なお、施設移管後は大子町がやみぞを運営していきます。</p>			

[ 法人担当課の意見 ]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
設立当初の目的に沿って概ね適正に運営されている。	中期経営基本計画等に沿って概ね適正に運営されている。	臨時職員（パート）の比率が高いが、常勤職員（特に管理職）が積極的に、一般業務を行うなど、概ね適正に運営されている。	経営改善の結果、効率的な運営体制の基盤は整ったが、今後はサービスの質の低下を招かぬよう配慮しつつ効率的な運営を行う必要がある。	平成16年度から5年連続で、黒字決算を計上し、経営改善が進んでいるが、累積欠損金の早期解消に向けて、今後も更なる経営努力の継続が必要である。
<p>法人担当課の意見</p> <p>当事業団は、平成22年3月末までに余暇活用センターやみぞを大子町へ移管することとした。 また、事業団についても、平成23年3月を目途に解散する予定となっている。 事業団に対しては、施設の移管及び事業団の解散について適切に指導していきたい。</p>				

[ 経営目標 ]

区分	指標名	単位	H18実績	H19実績	H20 目標	H20実績	達成度(%)	H21目標値	
経営目標	事業成果	1 累積欠損金の削減額	千円	19,013	10,990	10,000	7,060	70.6%	15,367
		2 売上高の確保	千円	210,918	205,718	212,000	210,662	99.4%	216,000
	健全性	1 収支比率 (収入/支出×100)	%	109.2	105.3	102.8	103.2	100.0%	107.3
		2							
	効率性	1							
		2							
平均目標達成度							90.0%		

[ 総合評価 ]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>余暇活用センター「やみぞ」については、施設の大子町への譲渡が決定したことから、法人の解散について円滑な手続きを進められたい。また、累積欠損金の解消に向け努力されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>余暇活用センター「やみぞ」の大子町への移管（平成22年3月予定）及び事業団の解散（平成23年3月末予定）の円滑な対応について適切な指導に努める。</p>				